

刑法

次の【事例】を読み、下記の2つの【設問】に答えなさい。解答用紙は、表面(30行)のみを使用すること。

【事例】

- 1 甲(35歳:男性)は、3年間交際を継続しており、将来、結婚を約束していたA(28歳:女性)が、甲の長年の親友であるB(33歳:男性)との間で男女関係にあるのではないかとの疑いをもった。甲は、令和3年4月15日午後10時頃、S市内の駐車場に駐車中の普通乗用自動車(甲所有のもの)の車内において、Bとの関係についてAを問い詰めると、Aはそれを認め、裏切り続けていて悪かったと謝罪した。甲は、その告白を聞いて絶望的な気持ちになり、とっさにAと心中しようと決意した。甲は、Aに対し「一緒に死んでほしい。君の気持ちを聞きたい。」といいながら、用意していた包丁(刃体の長さ約17センチメートル)を取り出したところ、Aはそれを見て、甲の気持ちが痛いほど分かり、むしろ甲に殺されたい、それで本望であると考えた。Aはその気持ちを甲に伝えようとしたが、Aの表情から同意など得られる見込みがないと即断した甲は、Aが答えを口に出す前に、その包丁でAの左胸を突き刺し、Aはすぐに意識を失った。ただ、包丁は急所を外れ、Aは重傷を負ったが、それはAを即死させるような傷害ではなかった。
- 2 甲は、Aの死を見届けてから自分も死のうと考えて適当な場所を探しながら、包丁が左胸部に深く刺さったままのAを自動車に乗せて、その車で市内のあちこちを走っていたが、呼吸が弱まっていくAの様子を目にしながらか、特に何もしなかった。Aが傷害を負ってから約1時間30分が経過した後、Aがかすかに意識を取り戻し、声を振り絞るように「本当にごめんね。殺されて当然だし、このまま死んで本望だよ。」と話すのを聞いて、甲は自分のしたことを激しく後悔し、何としてもAを助けたいと思うに至り、そこから約7キロメートル離れた大学附属病院の救命救急センターまで走り、担当医師Cに対し、強盗に襲われて包丁のようなもので刺されたと説明し、さらに不明な点を確かめようとするCのスキを見てその場を立ち去り、車で逃走して病院には戻らなかった。すぐにAに対し治療が施され、Aは一命を取りとめた。ただ、あと1時間でも搬送が遅れていたなら、出血多量のためAは助からなかったであろうと考えられた。

【設問】

- (1) 甲の罪責を検討するにあたり、Aがその内心で殺されたいと考えていたこととはどのような法的意味をもつかを明らかにしなさい。甲の罪責に関し可能な結論をすべて挙げ、そのうち妥当と考える結論の根拠を述べるとともに、他説を批判しなさい。
- (2) 甲の行為について中止犯が成立するかどうかを明らかにしなさい。

(120点)